

消 防 年 報

令和 4 年版



旭市消防本部

は し が き

本書は、令和５年４月１日現在の当消防本部及び消防団の現勢ならびに令和４年中の消防業務に関する諸統計と一部過去における諸統計を比較収録し、今後の消防行政の合理的運用をはかるとともに活動状況を紹介することを目的として作成したものであります。

令和５年７月

旭市消防本部

消 防 本 部

消 防 署



目 次

【消防本部】

1. 消 防 本 部 の 沿 革	1
2. 消 防 機 構 （ 組 織 ）	5
3. 消 防 施 設	6
4. 面 積 ・ 人 口 ・ 世 帯 数	7
5. 基 準 消 防 力 と 現 有 消 防 力 と の 比 較	7
6. 現 有 消 防 力 に 対 す る 面 積 ・ 人 口 ・ 世 帯 数	7
7. 予 算 （ 当 初 ） 決 算 の 推 移	7
8. 消 防 本 部 車 両 配 置 状 況	8
9. 歴 代 消 防 長	9
10. 消 防 職 員 配 置 状 況	10
11. 消 防 職 員 階 級 別 年 齢 表	10
12. 消 防 職 員 勤 続 年 数	10
13. 消 防 研 修 機 関 派 遣 状 況	11
14. 資 格 取 得 状 況	12
15. 通 信 指 令 業 務 の 概 要	13
(1) シ ス テ ム 系 統 図	14
(2) 消 防 救 急 無 線 装 置 の 概 要	15
16. 1 1 9 番 受 理 回 数 （ 5 年 間 ）	16
17. 令 和 4 年 気 象 観 測 状 況	17
18. 消 防 法 に 定 め る 防 火 対 象 物 数 （ 地 域 別 ）	19
19. 地 域 別 中 高 層 建 築 物 数	20
20. 地 域 別 危 険 物 施 設 数	20

21. 地域別消防水利状況	21
22. 年別火災発生状況	22
23. 令和4年地域別火災発生状況	23
24. 年別・原因別火災発生件数	24
25. 年別救急出動件数	25
26. 年別・地区別・救急発生件数	26
27. 令和4年地区別救急発生件数・搬送人員数	27
28. 特別救助隊のあゆみ	28
29. 特別救助隊編成表	30
30. 年別救助出動状況	30
31. 令和4年救助活動状況	31
32. 令和4年地域別救助出動件数	31
33. 令和4年消防隊出動状況	32

1. 消防本部の沿革

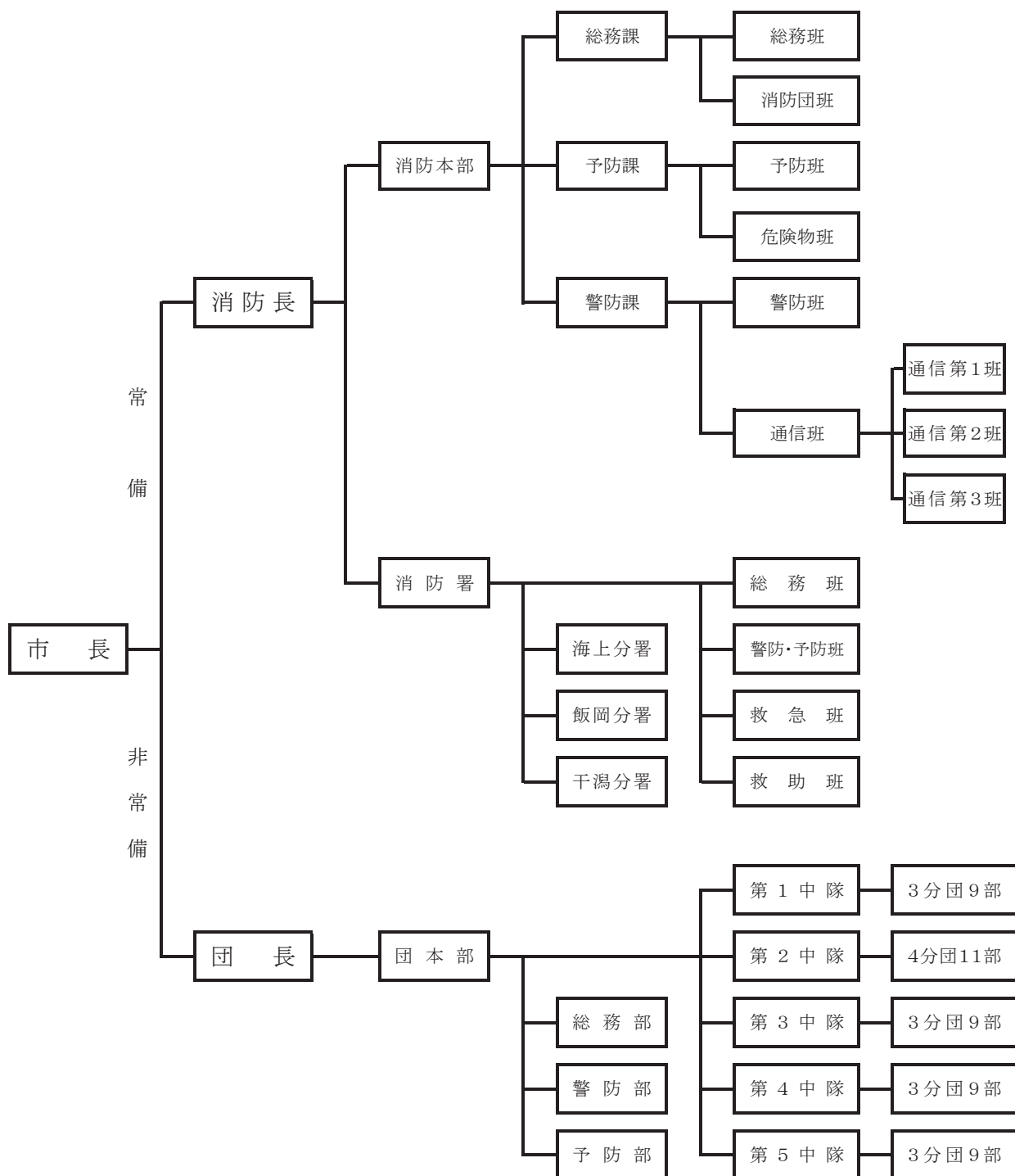
昭42 . 10 . 1	旭市では政令指定に基づき、消防本部、消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭43 . 12 . 29	政令指定に基づき、救急業務を開始する。
昭45 . 4 . 1	一市三町で知事宛消防組合設立許可の申請を行った。
昭45 . 4 . 17	旭市、飯岡町、海上町、干潟町に対し、旭市外三町消防組合設立許可され設立する。 消防職員33名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、化学車1台、救急車1台、広報車1台。
昭45 . 10 . 3	旭市外三町消防組合消防本部、消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭46 . 1 . 5	消防職員 40名
昭46 . 4 . 1	消防職員 67名
昭46 . 6 . 1	政令に基づき、自治大臣から、飯岡町、海上町、干潟町が消防本部、消防署を置かなければならないと指定された。
昭46 . 6 . 3	海上分遣所を開設し、消防職員10名、消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭46 . 7 . 4	飯岡分遣所を開設し、消防職員13名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置し、救急業務を開始する。
昭46 . 8 . 1	消防職員 70名
昭46 . 8 . 10	干潟分遣所を開設し、消防職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭47 . 4 . 1	消防職員 76名
昭48 . 4 . 1	消防職員 80名
昭48 . 6 . 30	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け消防署へ配置する。
昭49 . 11 . 1	海上分遣所へ救急車を購入し、救急業務を開始する。
昭50 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を82名とする。
昭51 . 4 . 1	消防本部の機構を改め、総務課、予防課、警防課の三課とする。 消防職員 81名
昭51 . 4 . 8	干潟分遣所へ救急車を配置、救急業務を開始する。
昭52 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、海上分遣所へ配置する。
昭53 . 9 . 1	消防職員 82名
昭54 . 11 . 20	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分遣所へ配置する。
昭55 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員92名とする。
昭55 . 10 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し干潟分遣所署へ配置する。
昭55 . 10 . 25	救助工作車を購入し、消防署へ配置する。
昭56 . 4 . 1	消防職員87名
昭57 . 3 . 3	消防庁長官表彰旗受章する。
昭57 . 4 . 1	消防署に通信指令室を設置し、室員を配置する。 消防職員92名
昭58 . 2 . 1	消防署に救急指令装置（B型）を配置すると同時に、飯岡町、海上町、干潟町からの119番受信を開始する。
昭58 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課、予防課、警防課、通信指令室の三課一室とする。 消防職員92名
昭58 . 11 . 17	消防庁舎建設用地を取得する。（民有地 1, 037㎡）
昭59 . 2 . 22	消防本部、消防署に千葉県防災行政無線を設置する。

昭59 . 4 . 3	消防庁舎建設用地を取得する。（旭市土地開発公社所有地 3, 527.2㎡）
昭60 . 2 . 27	消防庁舎新築工事起工式を挙行する。
昭60 . 12 . 23	消防庁舎新築工事完了する。
昭61 . 4 . 1	消防職員92名
昭62 . 5 . 1	消防職員91名
昭63 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を95名とする。 消防職員92名
平元 . 4 . 1	消防職員94名
平 3 . 1 . 29	海上分遣所仮眠室を増築する。（22.568㎡）
平 3 . 3 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を102名とする。
平 3 . 3 . 25	はしご付消防自動車（30m級）を購入し、消防署へ配置する。
平 3 . 4 . 1	消防本部事務部門につき、第2・第4土曜日閉庁を実施する。 消防職員95名
平 4 . 3 . 30	救急用無線（救急波）施設を整備する。
平 4 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を125名とする。 消防職員98名
平 4 . 9 . 1	消防職員99名
平 4 . 9 . 3	衛星通信回線（ふるさと千葉情報ネットワーク整備）運用を開始する。
平 5 . 4 . 1	完全週休2日制を実施する。 消防職員106名
平 6 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課・予防課・警防課・指令課の4課とする。 消防職員116名
平 7 . 3 . 16	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平 7 . 4 . 1	救急救命士業務を開始する。 消防職員122名（女性3名採用）
平 7 . 10 . 1	消防本部、消防署設置条例を改正し、分遣所の名称を分署とする。
平 8 . 2 . 28	消防署救急消毒作業室（木造、平屋、39㎡）を新築する。
平 8 . 10 . 1	消防組織法の規定に基づき消防本部に消防職員委員会を置く。
平 9 . 2 . 20	消防署に、消防訓練塔（高さ21m、一部倉庫）を新築する。
平 9 . 3 . 4	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波（1波、5W、150.73MH z）を新規整備する。
平10 . 4 . 1	消防職員119名
平11 . 4 . 1	消防職員118名
平12 . 4 . 1	消防署、3分署、指令課の勤務を3部交代制勤務とする。 消防職員121名
平12 . 8 . 28	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平13 . 3 . 15	消防緊急通信指令施設設計を完了する。
平13 . 4 . 1	消防職員122名
平13 . 12 . 25	発電・変電収納庫（ブロック造、平屋、29.11㎡）を新築する。

平14 . 3 . 27	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波 5W、148.75MH z、154.15MH z を整備する。 消防本部指令課へ、消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）を整備する。
平14 . 4 . 1	消防職員124名
平15 . 3 . 24	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、海上分署へ配置する。
平15 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を135名とする。 消防職員125名
平16 . 4 . 1	消防職員126名
平17 . 3 . 25	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、干潟分署へ配置する。
平17 . 4 . 1	消防職員129名
平17 . 7 . 1	旭市外三町消防組合を構成する。旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、新旭市の誕生により、旭市消防本部・消防署が発足する。 条例定数138名 消防職員128名
平18 . 3 . 22	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平18 . 3 . 28	携帯電話からの119番通報の直接受信を開始する。
平18 . 4 . 1	消防職員129名
平18 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 2 . 2	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 4 . 1	消防職員129名
平19 . 10 . 19	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、干潟分署へ配置する。
平20 . 1 . 25	救助工作車（Ⅱ型）・救助用資機材を購入し、消防署へ配置する。
平20 . 4 . 1	消防職員128名
平20 . 8 . 22	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平21 . 3 . 23	携帯・IP電話位置情報システム（簡易型）整備する。
平21 . 4 . 1	消防職員130名
平21 . 12 . 24	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 2 . 26	指揮車（救命ボートトレーラー付）を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 4 . 1	消防職員129名
平22 . 5 . 13	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平23 . 2 . 21	消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平23 . 3 . 11	東日本大震災により飯岡分署、消防署水槽付消防ポンプ自動車が被災する。
平23 . 4 . 1	消防職員128名 消防本部の機構を改編により総務課・予防課・警防課の3課とする。
平23 . 6 . 1	海上分署を海上支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 3 . 22	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平24 . 4 . 1	消防職員126名 飯岡分署を飯岡支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 8 . 22	連絡車を購入し、消防本部へ配置する。
平25 . 3 . 7	ちば消防共同指令センターへ119番回線の切替を実施する。
平25 . 4 . 1	消防職員124名 ちば消防共同指令センターで共同運用を開始する。

平25 . 4 . 1	消防救急デジタル無線を整備し運用を開始する。
平25 . 6 . 27	広報車を購入し、消防本部へ配置する。
平25 . 8 . 20	はしご付消防自動車のオーバーホール整備を実施する。
平26 . 3 . 28	干潟分署の耐震補強工事を実施する。
平26 . 4 . 1	消防職員126名
平27 . 2 . 25	消防ポンプ自動車を購入し、海上分署へ配置する。
平27 . 4 . 1	消防職員126名
平27 . 10 . 30	指令車を購入し、消防本部へ配置する。
平27 . 10 . 30	搬送車を購入し、消防署へ配置する。
平28 . 1 . 29	化学消防車（Ⅱ型）を購入し、消防署へ配置する。
平28 . 4 . 1	消防職員125名
平28 . 10 . 27	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、干潟分署へ配置する。
平28 . 11 . 7	消防ポンプ自動車を購入し、干潟分署へ配置する。
平28 . 11 . 22	はしご付消防自動車を購入し、消防署へ配置する。
平29 . 4 . 1	消防職員122名
平30 . 4 . 1	消防職員123名
平30 . 11 . 27	消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平30 . 12 . 14	調査車を購入し、予防課へ配置する。
平31 . 4 . 1	消防職員121名
令 1 . 12 . 27	支援車を購入し、消防署へ配置する。
令 2 . 3 . 27	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、飯岡分署へ配置する。
令 2 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を121名とする。 消防職員121名
令 2 . 12 . 25	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、海上分署へ配置する。
令 3 . 4 . 1	消防職員120名
令 3 . 7 . 12	連絡車を購入し、飯岡分署と干潟分署へ配置する。
令 4 . 3 . 28	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を購入し、海上分署へ配置する。
令 4 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を120名とする。 消防職員120名
令 4 . 8 . 22	連絡車を購入し、総務課へ配置する。

2. 消防機構(組織)



3. 消防施設

令和5年4月1日 現在

区分	所在地	敷地面積 (㎡)	用途	構造	延床面積 (㎡)	建築年月日
消防本部・消防署	旭市イの 2953番地1	4,564.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,235.70	昭和60年12月23日
			車庫（北）	鉄骨造 平屋建	387.91	〃
			車庫（南）	鉄骨造 平屋建	138.08	〃
			浄化槽室	鉄筋コンクリート 平屋建	9.05	〃
			救急消毒室	木造 平屋建	39.74	平成 8年 2月 28日
			訓練塔	鉄骨造(高さ21m) 一部倉庫	90.00	平成 9年 2月 20日
			発電・変電収納庫	コンクリートブロック造 平屋建	29.11	平成13年12月25日
海上分署	旭市高生 1番地	9,467.39	旧支所庁舎	鉄骨コンクリート造 3階建	113.90 (2,879.50)	平成 23年 6月 1日 改 築 (昭和59年8月)
飯岡分署	旭市萩園 1800番地	10,576.42	旧支所庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	125 (2,295.91)	平成 24年 4月 1日 改 築 (昭和49年1月)
干潟分署	旭市南堀之内 17番地	1,010.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	354.73	昭和 46年 8月 10日

4. 面積・人口・世帯数

区 分	面 積 (km^2)	国 勢 調 査 (R2.10.1)		人 口 (令 和 5 年 4 月 1 日)			世 帯 数
		人 口	世 帯 数	男	女	合 計	
旭 市	130.48	63,745	24,299	31,327	32,052	63,379	26,974

5. 基準消防力と現有消防力との比較

令和5年4月1日 現在

種 別 \ 区 分		基 準 数	現 有 数	不 足 数
消 防 本 部・消 防 署	消 防 署 々 の 数	4	4	
	消 防 ポンプ自動車	8 台	(予備車を含む) 9 台	
	化 学 車	1 台	1 台	
	梯 子 車	1 台	1 台	
	救 助 工 作 車	1 台	1 台	
	特 殊 車 等 (調 査 車・支 援 車 等)	3 台	4 台	
	救 急 車	4 台	(予備車を含む) 5 台	
	消 防 職 員	149 人	120 人	29 人
消 防 団	市街地 (台数・口数)	4 台 9 口	4 台 9 口	
	準市街地 (台数・口数)	15 台 23 口	15 台 23 口	
	その他の地域 (口数)	6 口	6 口	

6. 現有消防力に対する面積・人口・世帯数

令和5年4月1日 現在

組 織 \ 区 分	消 防 力	面 積 (km^2)	人 口 (人)	世 帯 数
消 防 本 部	1 署 々 当 た り	32.62	15,845	6,744
	ポ ン プ 1 台 あ た り	14.50	7,042	2,997
	消 防 職 員 1 人 あ た り	1.09	528	225
消 防 団	ポ ン プ 1 台 あ た り	2.78	1,348	574
	消 防 団 員 1 人 当 た り	0.18	85	36

7. 予算(当初)決算の推移

単位: 千円

年 度 \ 区 分	平成30年度	平成31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	27,990,000 (1,183,700)	30,080,000 (1,221,457)	37,940,000 (1,261,427)	29,890,000 (1,167,039)	28,710,000 (1,107,678)
歳出決算額	29,015,887 (1,214,537)	29,586,402 (1,203,565)	44,813,851 (1,289,743)	34,788,135 (1,281,850)	

()内は消防費

8. 消防本部車両配置状況

区分 配置先	呼称	車種	シャシー メーカー	年式	無線	ポンプ 級別	ポンプ等メーカー
消防本部	旭本部司令1	指令車	ホンダ	平成27年	有		
	旭本部広報1	調査広報車	ニッサン	平成25年	有		
	旭本部予防1	調査広報車	トヨタ	平成17年	有		
	旭本部調査1	調査広報車	トヨタ	平成30年	無		
	旭本部連絡1	連絡車	ニッサン	平成24年	有		
	小型	連絡車	スズキ	令和4年	無		
消防署	旭指揮1	指揮車	ホンダ	平成22年	有		
	旭水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成24年	有	A2級	モリタ
	旭ポンプ1	ポンプ車	日野	平成30年	有	A2級	モリタ
	旭ポンプ2	ポンプ車	いすゞ	平成16年	有	A2級	GM いちはら工業
	旭化学1	化学車	日野	平成28年	有	A2級	GM いちはら工業
	旭救助1	救助工作車	日野	平成20年	有		モリタ
	旭梯子1	梯子車	日野	平成28年	有		モリタ
	旭救急1	高規格救急車	トヨタ	平成22年	有		エイバン商事(資器材)
	旭救急2	高規格救急車	トヨタ	平成17年	有		フクダ電子(資器材)
	旭資機材1	搬送車	ニッサン	平成27年	有		
	旭資機材2	支援車	いすゞ	令和元年	有		
	小型	連絡車	ニッサン	平成23年	無		
海上分署	旭海上水槽1	水槽付ポンプ車	日野	令和4年	有	A2級	GM いちはら工業
	旭海上ポンプ1	ポンプ車	日野	平成27年	有	A2級	モリタ
	旭海上救急1	高規格救急車	日産	令和2年	有		日本船舶(資器材)
	小型	連絡車	三菱	平成14年	無		
飯岡分署	旭飯岡水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成18年	有	A2級	日本造機
	旭飯岡ポンプ1	ポンプ車	日野	平成23年	有	A2級	GM いちはら工業
	旭飯岡救急1	高規格救急車	日産	令和2年	有		日本船舶(資器材)
	小型	連絡車	日野	令和3年	無		
干潟分署	干潟水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成19年	有	A2級	GM いちはら工業
	干潟ポンプ1	ポンプ車	日野	平成28年	有	A2級	モリタ
	干潟救急1	高規格救急車	トヨタ	平成28年	有		エイバン商事(資器材)
	小型	連絡車	日産	令和3年	無		

9. 歴 代 消 防 長

昭和42年10月1日 旧旭市消防本部を設立

歴 代	消 防 長 名	間	摘 要
初 代	平 川 清	自 昭和 42 年 10 月 1 日 至 昭和 45 年 3 月 31 日	旭市助役兼任
2 代	伊 藤 政 秋	自 昭和 45 年 4 月 1 日 至 昭和 45 年 4 月 16 日	旭市長兼任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町で旭市外三町消防組合を設立			
初 代	伊 藤 政 秋	自 昭和 45 年 4 月 17 日 至 昭和 46 年 5 月 31 日	組合長兼任
2 代	鶴 岡 良 介	自 昭和 46 年 6 月 1 日 至 昭和 50 年 5 月 31 日	専 任
3 代	大 木 利 一	自 昭和 50 年 6 月 1 日 至 昭和 53 年 4 月 30 日	専 任
4 代	林 俊 二	自 昭和 53 年 5 月 1 日 至 昭和 57 年 6 月 30 日	専 任
5 代	関 口 清	自 昭和 57 年 7 月 1 日 至 昭和 59 年 3 月 31 日	専 任
6 代	飯 田 省 三	自 昭和 59 年 4 月 1 日 至 昭和 61 年 3 月 31 日	専 任
7 代	下 妻 文 男	自 昭和 61 年 4 月 1 日 至 平成 元 年 3 月 30 日	専 任
8 代	仲 條 栄 樹	自 平成 元 年 4 月 1 日 至 平成 4 年 3 月 31 日	専 任
9 代	矢 指 本 静 幸	自 平成 4 年 4 月 1 日 至 平成 8 年 3 月 31 日	専 任
1 0 代	飯 田 繁	自 平成 8 年 4 月 1 日 至 平成 11 年 3 月 31 日	専 任
1 1 代	石 毛 利 夫	自 平成 11 年 4 月 1 日 至 平成 13 年 12 月 31 日	専 任
1 2 代	椎 名 秋 雄	自 平成 14 年 1 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 30 日	専 任
1 3 代	佐 久 間 正	自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日	専 任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市消防本部を設立			
初 代	佐 藤 眞 一	自 平成 17 年 7 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日	専 任
2 代	菅 谷 衛 一	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日	専 任
3 代	佐 藤 清 和	自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日	専 任
4 代	品 村 順 一	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	専 任
5 代	加 瀬 寿 勝	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	専 任
6 代	川 口 和 昭	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	専 任
7 代	伊 東 秀 貴	自 令和 3 年 4 月 1 日	専 任

10. 消 防 職 員 配 置 状 況

令和5年4月1日 現在

階級別 区分		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	計
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	総 務 課		1	2	4 (1)				2	9 (1)
	予 防 課		1	2	4 (1)					7 (1)
	警 防 課		1	3	4 (1)					8 (1)
	小 計	1	3	7	12 (3)				2	25 (3)
消 防 署	署 長		1							1
	副 署 長			3						3
	消 防 署			3	14	11	4	5		37
	海上分署			2	14	1		1		18
	飯岡分署			1	10	3	1	3		18
	干潟分署			1	14	1	1	1		18
	小 計		1	10	52	16	6	10		95
合 計		1	4	17	64 (3)	16	6	10	2	120 (3)

()内は女子数

11. 消 防 職 員 階 級 別 年 齢 表

令和5年4月1日 現在

階級別 区分	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 吏 員	計
18歳～20歳							1		1
21歳～25歳						6	9		15
26歳～30歳					7				7
31歳～35歳				10	9				19
36歳～40歳				23				1	24
41歳～45歳				16 (3)				1	17 (3)
46歳～50歳			12	11					23
51歳～55歳		3	5	4					12
56歳 以上	1	1							2
合 計	1	4	17	64 (3)	16	6	10	2	120 (3)

()内は女子数

12. 消 防 職 員 勤 続 年 数

令和5年4月1日 現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
11	13	10	32	15	20 (3)	15	4	120 (3)

事務吏員含む ()内は女子数

13.消防研修機関派遣状況

年 度 区 分		昭 和 42 年 度	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	合 計
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科		2						2
	幹 部 研 修 科		10						10
	警 防 科		11				1		12
	予 防 科		3		1				4
	救 急 科		2						2
	救 助 科		10	1				1	12
	火災調査講習会		2						2
	新 任 教 官 科		2						2
千 葉 県 消 防 学 校	初 任 科		212	5		2	2	5	226
	初 級 幹 部 科		32						32
	中 級 幹 部 科		21						21
	幹部特別研修科		6						6
	警 防 課 程		10						10
	特 殊 災 害 科		9	1	1	1	1	1	14
	救 助 科		43	1	1	1	1	1	48
	水難救助課程		9			1	1	1	12
	無 線 通 信 課 程		14						14
	予 防 査 察 科		9	2	2	2	2	2	19
	火 災 調 査 科		17	2	2	2	2	2	27
	危 険 物 課 程		1				1		2
	救 急 I 課 程		74						74
	救 急 II 課 程		32						32
	救 急 科		107	2	4	2	3	4	122
	訓 練 指 導 科		73	1	1	1	1	1	78
	管 理 職 科		1						1
	機 械 科		4						4
	はしご自動車講習		40	1	1	1	1	1	45
	薬剤投与・気管挿管講習		4						4
研 修 所	薬剤投与講習		3						3
	処置範囲拡大2行為追加講習		6						6
	救急救命士養成研修		22	1	1	1			25
	薬剤投与講習		6						6
研 修 所	指導救命士養成研修		2		1	1		1	5
	処置拡大追加講習		2						2
安全運転研修所			17	2	1	1	1	1	23
合 計			818	19	16	16	17	21	907

14. 資 格 取 得 状 況

令和5年4月1日 現在

階 級 資 格 等 の 名 称		消 防 司 以 令 上 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
車 輛 船 舶 関 係	大型自動車運転免許	4	15	58	15	5		97
	中型自動車運転免許	1	1	1	1			4
	大型特殊自動車運転免許			3				3
	けん引自動車免許			4				4
	小型船舶操縦免許	3	7	16	3			29
労 基 関 係	衛生管理者	1	3	1				5
	潜水士	2	7	27	7	5		48
	特定化学物質等作業主任者	2	3	2				7
	小型移動式クレーン	4	8	16	7			35
	玉掛け技能講習	2	8	18	4			32
	酸素欠乏危険作業主任者	2	3	18	1			24
	チェーンソー取扱特別教育			3				3
	墜落制止用器具使用従事者			3				3
消 防 関 係	救急救命士	2	5	20	3		1	31
	救急(Ⅱ)	2	1	2				5
	救急(標準)	3	16	55	14	6	4	98
	指導救命士			3				3
	予防技術資格者(防火査察専門員)	1	4	20				25
	予防技術資格者(消防用設備等専門員)		1	4				5
	予防技術資格者(危険物専門員)	1	1	4				6
	危険物取扱者(乙種)	1	3	47	12	5	2	70
	危険物取扱者(丙種)	1	5					6
	第2級陸上特殊無線技士	4	3	2				9
	第3級陸上特殊無線技士	1	14	62	16	6	7	106
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	2	2	12				16

15. 通信指令業務の概要

平成25年4月1日より、千葉県北東部・南部ブロックの20消防本部で構築した「ちば消防共同指令センター」の運用が本格的に開始され、当消防本部で行っていた通信指令業務を千葉市消防局内に設置された「ちば消防共同指令センター」へ完全に移行しました。

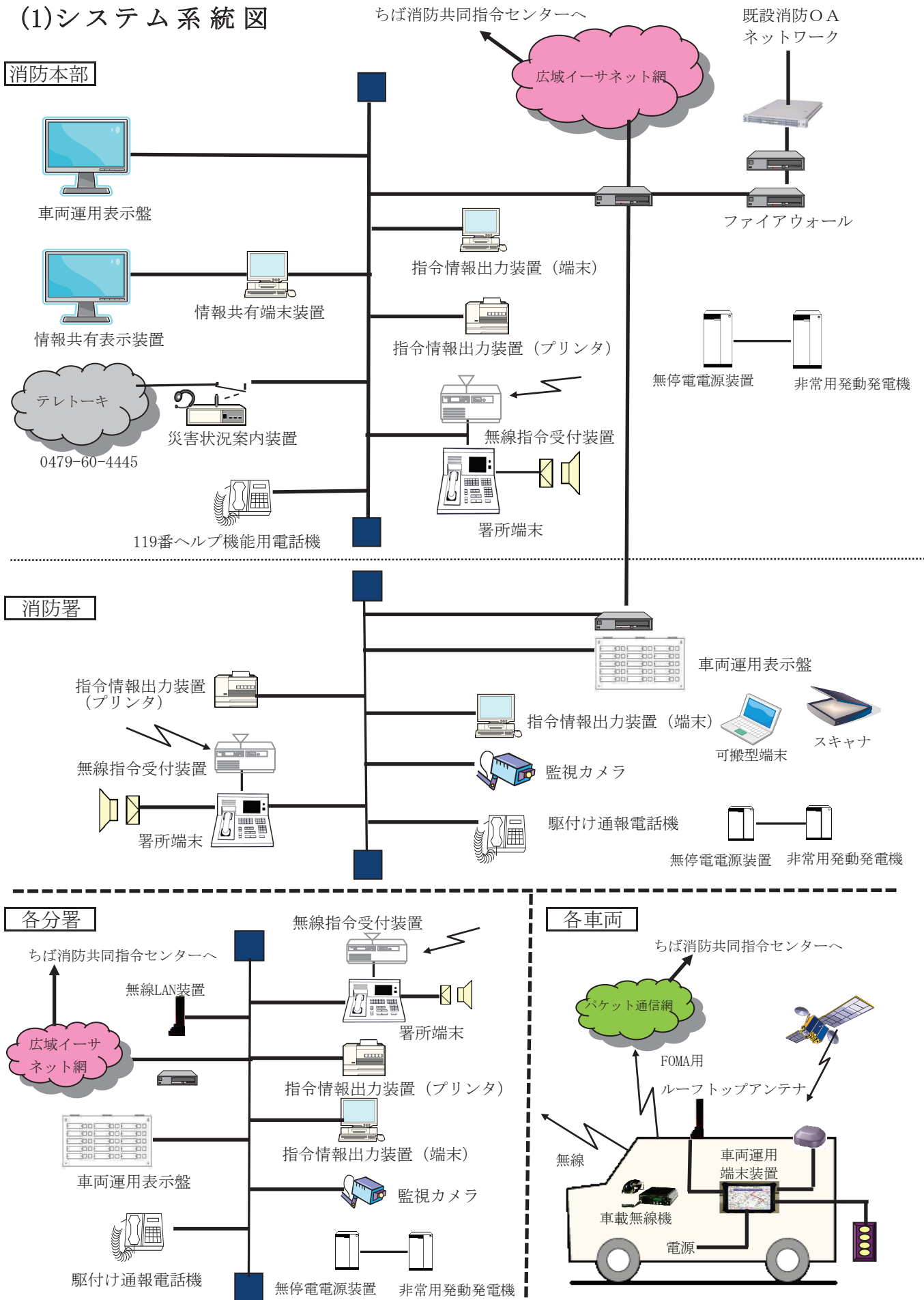
共同運用を行うことで、業務の効率化が図れるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制が充実強化されています。

また、通信指令業務に従事する職員として当消防本部から令和5年4月1日現在、2名の職員が出向しています。



(ちば消防共同指令センター)

(1) システム系統図



(2) 消防救急無線装置の概要

1 アナログ無線

令和5年4月1日 現在

所属別 区分			出力 (W)	総務課	予防課	警防課	消防署	海上分署	飯岡分署	干潟分署	計
				局 数							
陸上移動局 (携帯型)	署活動系	署活動波1	1				14	5	5	5	29
		署活動波2									
		関東共通波									
		防災相互波									

2 デジタル無線

無線局の種別	出力 (W)	区 分		識別信号	局 数
遠隔制御器 消防本部警防課(通信室)	10	活動波	消防波	えんせい あさひ しょうぼう	1
			救急波		
		主運用波	主運用波2		
		統制波	統制波1		
			統制波2		
			統制波3		
		近隣消防本部 活動波			

区分 \ 所属別		出力 (W)	総務課	予防課	警防課	消防署	海上分署	飯岡分署	干潟分署	計
			局 数							
陸上移動局	車載型移動局無線装置	5	2	1	1	11	3	3	3	24
	携帯型移動局無線装置			1	1	14	5	5	5	31
	卓上型移動局無線装置				2					2
	可搬型移動局無線装置				1	1				2

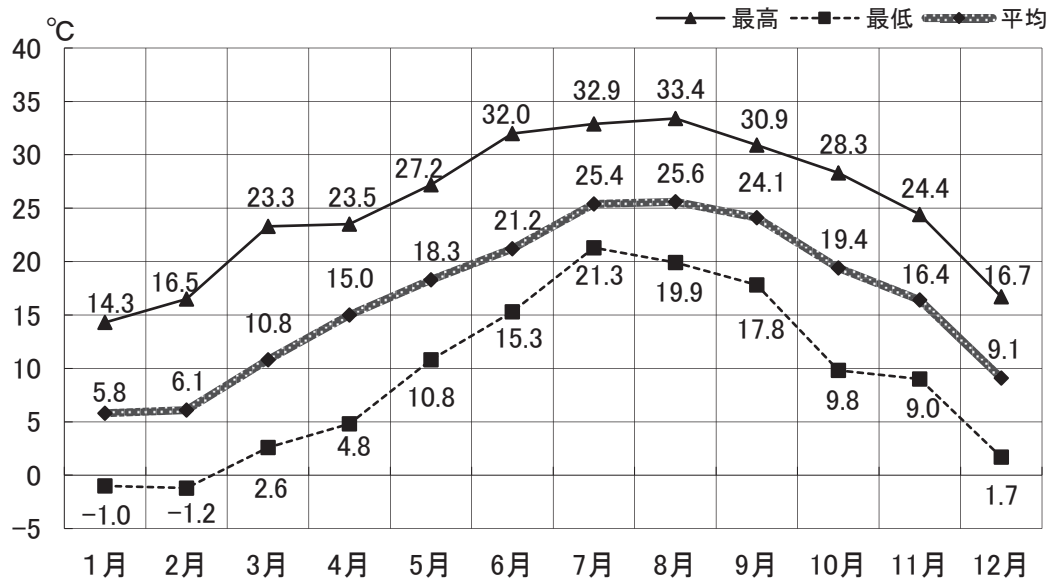
16 . 119番受理回数(5年間)

年別 種別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	合 計
火 災	33	37	30	46	40	186
救 急	2,345	2,467	2,112	2,087	2,623	11,634
救 助	23	41	35	31	24	154
その他の 災害	366	385	361	401	386	1,899
続 報	170	171	155	156	172	824
問合せ	118	121	100	122	135	596
間違い	171	186	164	196	185	902
試 験	255	313	239	248	236	1,291
その他	256	217	184	181	194	1,032
合 計	3,737	3,938	3,380	3,468	3,995	18,518

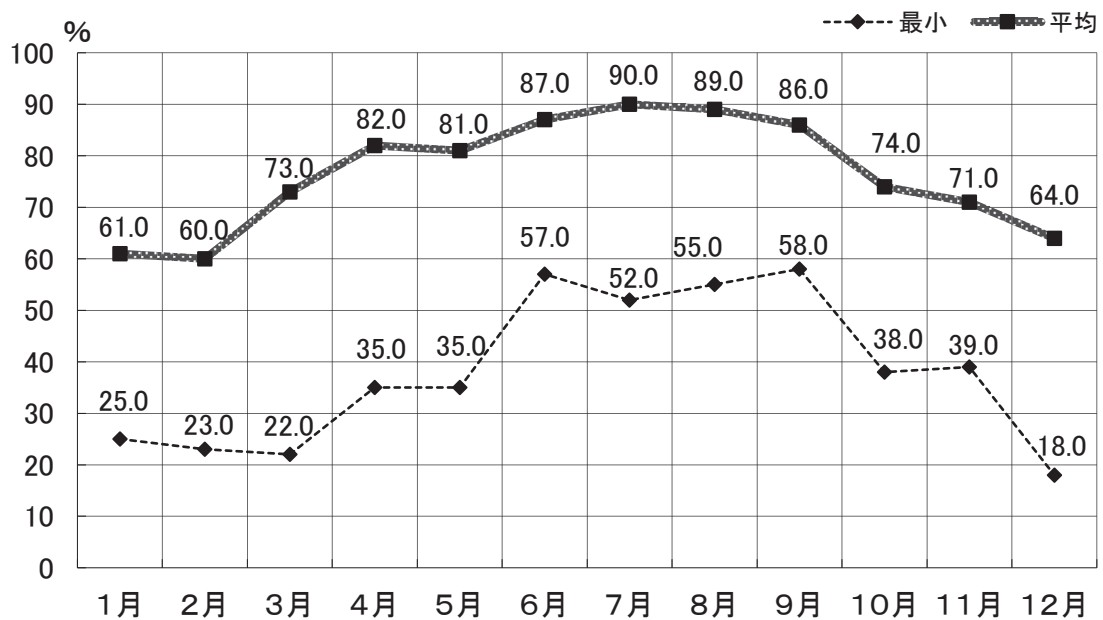
※ 「ちば消防共同指令センター」統計

17. 令和 4 年 気 象 観 測 状 況

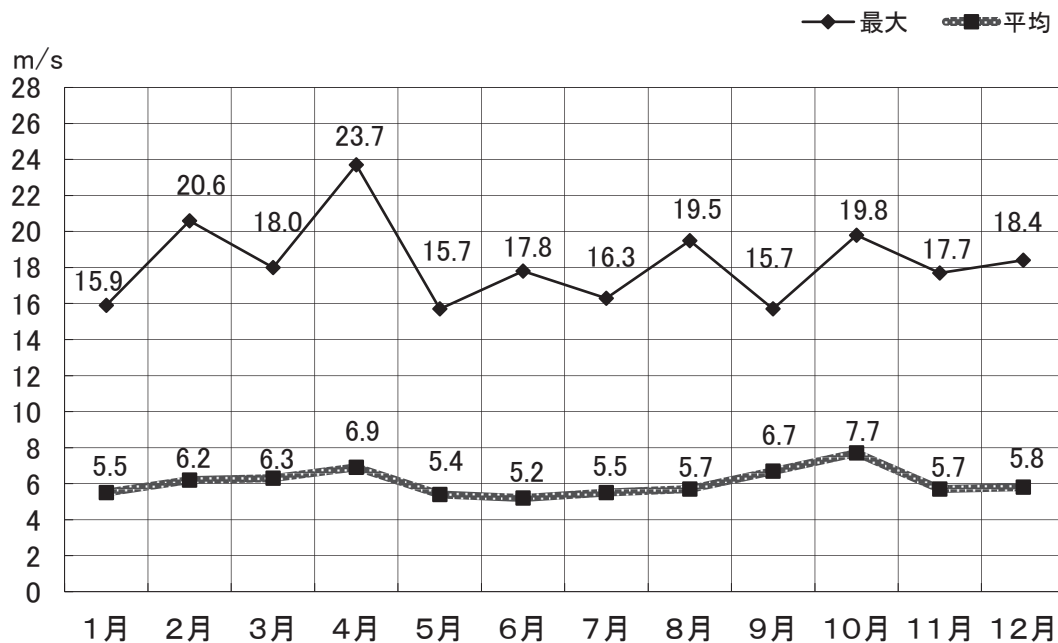
(1) 最高・最低・平均気温



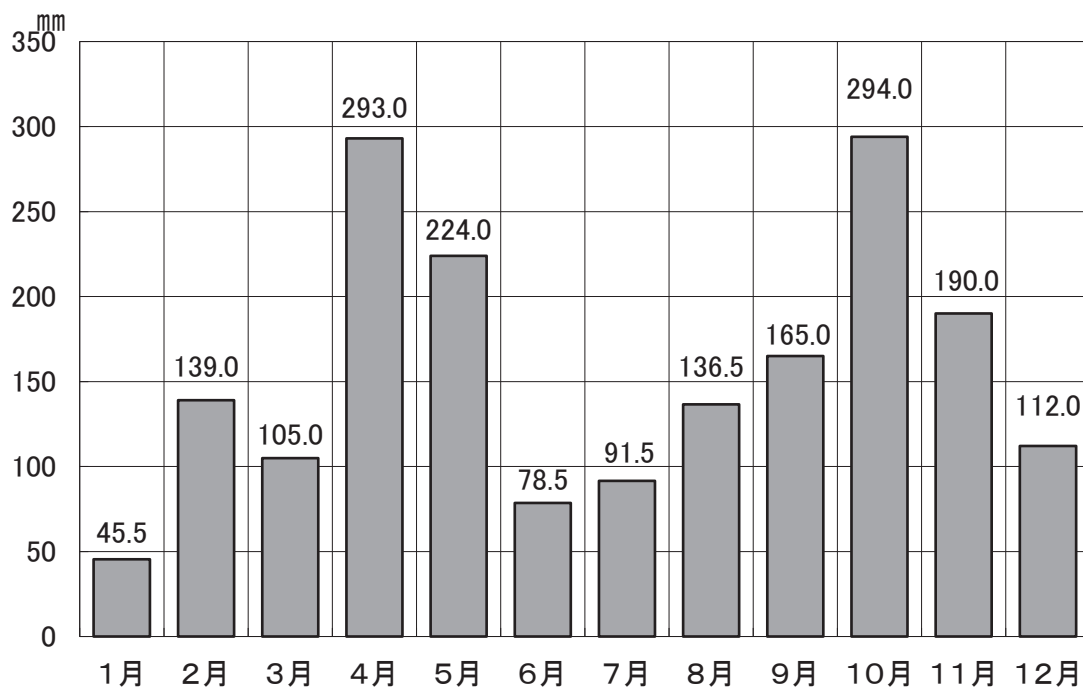
(2) 最小・平均相对湿度



(3) 最大・平均風速



(4) 降雨量



※気象庁ホームページ「過去の気象観測データ

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>より銚子地方気象台過去データをもとに旭市消防本部が作成しました。

18. 消防法に定める防火対象物数(地域別)

(消防用設備を必要とする対象物)

令和5年4月1日 現在

地域別 用途(防火対象物)	旭 地 域	海上地域	飯岡地域	千潟地域	合 計
劇場、映画館、観覧場	2	1		1	4
公会堂、集会場	16	5	5	8	34
キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					0
遊技場、ダンスホール	5	1			6
カラオケボックス、インターネットカフェ	1				1
待合、料理店の類					0
飲食店	117	9	31	15	172
百貨店、マーケット、物品販売業店舗	109	9	7	10	135
旅館、ホテル、宿泊所	27	9	28		64
寄宿舍、下宿、共同住宅	260	42	33	8	343
病院、診療所、助産所	31	3	2	1	37
老人ホーム、救護、障害者支援施設	24	5	5	3	37
デイサービスセンター、福祉施設、保育所	69	35	9	6	119
幼稚園、特別支援学校	4	1	2		7
小学校、中学校、高等学校、各種学校	60	9	7	8	84
図書館、博物館、美術館	1	1		1	3
蒸気浴場、熱気浴場					0
公衆浴場	1		1		2
車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	1				1
神社、寺院、教会の類	9	2	1		12
工場、作業場	218	22	47	38	325
自動車車庫、駐車場	17	3	2	3	25
倉庫	197	31	34	33	295
銀行、官公署等の事務所	188	87	60	56	391
複合用途(特定防火対象物)	153	8	23	3	187
上記以外の複合用途	48	3	4	3	58
重要文化財等				2	2
合 計	1,558	286	301	199	2,344

19. 地域別中高層建築物数

令和5年4月1日 現在

階 数 \ 地域別	旭 地 域	海 上 地 域	飯 岡 地 域	干 潟 地 域	合 計
3 階	115	14	25	10	164
4 階	23	1	3	1	28
5 階	11	1	3	1	16
6 階	10				10
7 階	2		2		4
8 階	3				3
10 階	2				2
12 階	1				1
合 計	167	16	33	12	228

20. 地域別危険物施設数

令和5年4月1日 現在

製造所等 地域別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
旭 地 域	3	12	21	4	32		17	42	29	3		27	190
海 上 地 域		3	9		5		8	1	8			4	38
飯 岡 地 域		1	5		7			1	6			6	26
干 潟 地 域	1	8	18		2		3	1	10			13	56
合 計	4	24	53	4	46		28	45	53	3		50	310

21. 地域別消防水利状況

令和5年4月1日 現在

区分 地域別	防 火 水 槽					消 火 栓	池	河 川	プ ー ル	合 計
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	60m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	小 計					
旭 地 域	55	199 (54)	16	7 (4)	277 (58)	1,081	4	12	9	1,383 (58)
海上地域	10	88 (18)	4	5 (4)	107 (22)	203	2	6	3	321 (22)
飯岡地域	10	52 (13)	4	4	70 (13)	197	1	1	3	272 (13)
干潟地域	20	32 (12)	13	1 (1)	66 (13)	187			2	255 (13)
合 計	95	371 (97)	37	17 (9)	520 (106)	1,668	7	19	17	2,231 (106)

※ ()内は耐震性

22. 年 別 火 災 発 生 状 況

年 別 区 分			平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火 災 件 数			23	36	23	28	34
損 害 額 (千円)			55,748	169,036	127,039	110,754	61,749
建 物 火 災	件 数		17	18	17	21	19
	焼 損 棟 数	全 焼	8	7	14	10	9
		半 焼	1		1		1
		部 分 焼	2	6	10	5	11
		ぼ や	15	10	13	12	8
		合 計	26	23	39	48	29
	焼損面積 (㎡)		1,153	3,275	1,463	763	1,039
	焼表面積 (㎡)		44	14	63	76	208
	損 害 額 (千円)		55,687	168,883	121,352	107,244	53,245
林 野 火 災	件 数						
	焼損面積 (a)						
	損 害 額 (千円)						
車 両 火 災	件 数			1	2	1	1
	焼損台数 (台)			1	3		1
	損 害 額 (千円)			122	5,641	3,366	192
船 舶 火 災	件 数						
	焼損隻数 (隻)						
	損 害 額 (千円)						
そ の 他	件 数		6	17	4	6	14
	損 害 額 (千円)		61	31	46	144	8,312
死 者			1		1	3	1
負 傷 者				4	5	8	1

23. 令和4年地域別火災発生状況

地域別 区分		旭地域	海上地域	飯岡地域	干潟地域	合計
火災件数		18	2	9	5	34
損害額(千円)		14,446	1,578	16,477	29,248	61,749
建物火災	件数	7	1	7	4	19
	焼損面積(m ²)	129	156	286	468	1,039
	焼表面積(m ²)	16		156	36	208
	損害額(千円)	6,459	1,386	16,477	28,923	53,245
	焼損棟数	全焼	1	4	3	9
		半焼		1		1
		部分焼	5	3	3	11
		ぼや	3	1	1	8
		合計	9	11	7	29
	罹災世帯(帯)		4	7	2	14
	罹災人員(人)		6	14	2	23
林野火災	件数					
	焼損面積(a)					
	損害額(千円)					
車両火災	件数		1			1
	焼損台数(台)		1			1
	損害額(千円)		192			192
船舶火災	件数					
	焼損隻数(隻)					
	損害額(千円)					
その他	件数	11		2	1	14
	損害額(千円)	7,987			325	8,312
死者					1	1
負傷者					1	1

24. 年別・原因別火災発生件数

原 因 別			年 別		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	合計
一 般 火 災 気	た き 火									
	た ば こ		1	1	2	1	3	8		
	こ ん ろ か ま ど	ま き								
		ガ ス								
	風 呂 釜	電 気								
		ま き								
		ガ ス								
	石 油			1				1		
	マ ッ チ									
	ラ イ タ ー						2	2		
	取火・残火の不始末				3	2	1	6		
	灯 火									
	線 香 ・ 蚊 取 線 香					1		1		
	こ た つ	炭 ・ 練 炭								
		電 気								
	煙 突			1				1		
	天 ぷ ら 鍋			1	1	1		3		
	焼 却 炉						1	1		
	花 火									
電 気 関 係	電 球									
	電 気 配 線 等		2	2	4	1	3	12		
	電 線 ス パ ー ク		1	1		4		6		
	モ ー タ ー									
	配 電 盤									
	変 圧 器									
	電 気 毛 布									
	保 温 器									
	電 気 ス ト ー ブ									
石 油 ・ ガ ス	電 気 カ ー ペ ッ ト									
	ボ イ ラ ー									
	乾 燥 機									
	溶 接 火 花									
	石 油 ス ト ー ブ				1	1	2	4		
	ガ ス ス ト ー ブ									
車 両	溶 断 器									
	交 通 事 故									
	燃 料 漏 れ									
	エ ン ジ ン に 接 触									
	排 気 管									
故 意	配 線 シ ョ ー ト						1	1		
	放 火 ・ 放 火 の 疑 い		4	2	3	1	5	15		
	火 遊 び			2				2		
	そ の 他	取 灰						1	1	
		火入れの火粉・枯草焼		1	9	1	3	3	17	
虫 焼 き 火		1	1			1	3			
溶接・切断機の火花				1	2		3			
そ の 他		3	4	1	3	5	16			
高 温 物 の 接 触				1			1			
不 明 ・ 調 査 中			10	11	5	8	6	40		
合 計			23	36	23	28	34	144		

25. 年別救急出動件数

年別	種別 出動件数 搬送件数 不搬送件数 搬送人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
												転院搬送	医師搬送	その他	
平成30年	出動件数	15		1	345	41	26	299	11	32	2,017	72	1	19	2,879
	搬送件数	1			319	40	26	289	10	16	1,893	70		1	2,665
	不搬送件数	14		1	26	1		10	1	16	124	2	1	18	214
	搬送人員	1			398	40	28	289	11	16	1,896	70		1	2,750
令和元年	出動件数	27	4	2	318	47	17	387	7	21	2,038	114	1	54	3,037
	搬送件数	4	4		296	47	17	362	7	13	1,910	113			2,773
	不搬送件数	23		2	22			25		8	128	1	1	54	264
	搬送人員	4	5		366	47	17	362	7	13	1,915	113			2,849
令和2年	出動件数	24	1	3	235	32	7	322	16	25	1,863	72		48	2,648
	搬送件数	5	1	2	222	32	7	312	13	13	1,738	71		2	2,418
	不搬送件数	19		1	13			10	3	12	125	1		46	230
	搬送人員	5	1	2	258	32	7	312	14	13	1,739	71		3	2,457
令和3年	出動件数	34		1	234	32	10	331	16	32	1,819	72		32	2,613
	搬送件数	8		1	218	32	10	312	15	20	1,715	72			2,403
	不搬送件数	26			16			19	1	12	104			32	210
	搬送人員	9		1	264	32	10	312	15	20	1,718	72			2,453
令和4年	出動件数	22		7	261	41	8	398	11	36	2,303	84		40	3,211
	搬送件数	3		4	243	41	8	381	7	27	2,174	81			2,969
	不搬送件数	19		3	18			17	4	9	129	3		40	242
	搬送人員	3		4	299	41	8	383	7	27	2,178	81			3,031
5年間	合計	122	5	14	1,393	193	68	1,737	61	146	10,040	414	2	193	14,388

26. 年別・地域別・救急発生件数

年 別 地 区 別		平成 30 年	令和 元 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	5 年 間		
							地区別 小計	地域別 合計	地域別 比率 (%)
旭 地 域	中 央	713	776	657	690	784	3,620	8,607	59.8
	矢 指	175	243	189	170	232	1,009		
	富 浦	187	170	163	186	209	915		
	干 潟	193	215	171	180	208	967		
	豊 畑	152	158	127	134	139	710		
	共 和	170	186	147	125	194	822		
	嚶 鳴	124	101	121	103	115	564		
海上 地域	嚶 鳴	181	183	173	167	227	931	2,048	14.2
	滝 郷	93	102	87	86	83	451		
	鶴 巻	125	125	110	131	175	666		
飯岡 地域	飯 岡	218	219	191	197	241	1,066	2,138	14.9
	三 川	193	196	196	183	202	970		
	埴	20	17	27	17	21	102		
干潟 地域	萬 歳	72	75	54	38	76	315	1,400	9.7
	中 和	89	112	97	81	114	493		
	古 城	123	121	115	94	139	592		
管 外		51	38	23	31	52	195		1.4
合 計		2,879	3,037	2,648	2,613	3,211	14,388		100.0

27. 令和4年地域別救急発生件数・搬送人員数

種 別 地 区 別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			地	地
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	医	そ	区	域
		災	害	難	通	害	技	傷	害	為		院	師	の	別	別
												搬	搬	他	小	合
												送	送		計	計
旭 地 域	中 央	2			57	6	1	99	3	7	551	47		11	784	1,881
					65	6	1	90	1	6	517	46			732	
	矢 指	2		1	16	4		29		1	160	18		1	232	
					21	4		29			147	17			218	
	富 浦	1			18	4		26	1	1	156	1		1	209	
					24	4		26	1		152	1			208	
	干 潟	2			27	4	1	24		5	140			5	208	
					30	4	1	24		3	134				196	
	豊 畑	1			13	2		18		1	103			1	139	
					13	2		18		1	97				131	
	共 和	1		1	23	1		25	2	4	132	3		2	194	
				1	29	1		24	1	3	124	3			186	
	嚶 鳴				17	1		13		4	77			3	115	
					21	1		12		3	74				111	
海上地域	嚶 鳴	1			21	2	2	34	3	5	159				227	485
					21	2	2	33	2	4	155				219	
	滝 郷	3			9	3		5			63				83	
		2			10	3		5			59				79	
	鶴 巻				11	3		31	1		123	3		3	175	
飯岡地域	飯 岡	4		3	11	2	2	29	1		182	2		5	241	464
				2	14	2	2	27	1		174	2			224	
	三 川	1		2	11	3		20		3	153	8		1	202	
				1	10	3		20		2	144	8			188	
	塙				2			3			16				21	
干潟地域	萬 歳	2			1	3		10			58			2	76	329
		1			1	3		10			55				70	
	中 和	1			10	2	2	12		2	85				114	
					12	2	2	12		2	82				112	
	古 城	1			9	1		15		1	107			5	139	
管 外					5			5		2	38	2			52	52
					6			3		2	30	1			42	42
合 計		22		7	261	41	8	398	11	36	2,303	84		40		3,211
		3		4	299	41	8	383	7	27	2,178	81				3,031

(注) 上段は発生件数、下段は搬送人員数

28. 特別救助隊のあゆみ

年 月 日				摘 要	
昭和	49	10	2	救助隊発足の基礎として消防学校救助科入校	2名
		11	1	隊長以下7名にて特別救助隊発足	
昭和	50	10	1	救助隊7名増員し隊長以下14名となる。	
昭和	54	8	24	第8回全国消防救助技術大会出場	
				ほふく救出	1位
昭和	55	8	29	第9回全国消防救助技術大会出場	
				梯子登はん	
昭和	56	8	9	第10回全国消防救助技術大会出場	
				ほふく救出	3位
				ほふく救出	
昭和	57	4	8	消防大学校救助科入校	1名
		8	19	第11回全国消防救助技術大会出場	
				梯子登はん	
昭和	59	4	10	消防大学校救助科入校	1名
		8	24	第13回全国消防救助技術大会出場	
				ほふく救出	2位
昭和	60	8	23	第14回全国消防救助技術大会出場	
				ほふく救出	2位
昭和	61	9	2	消防大学校救助科入校	1名
昭和	62	8	21	第16回全国消防救助技術大会出場	
				ほふく救出	6位
				梯子登はん	
昭和	63	8	19	第17回全国消防救助技術大会出場	
				梯子登はん	
				ロープ応用登はん	
平成	元	8	25	第18回全国消防救助技術大会出場	
				梯子登はん	
平成	2	8	24	第19回全国消防救助技術大会出場	
				ロープ応用登はん	
				梯子登はん	
		9	25	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	3	9	25	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	4	8	28	第21回全国消防救助技術大会出場	
				ロープ応用登はん	3位
		9	29	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	5	8	19	消防大学校救助科入校	1名
		9	6	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	7	8	25	第24回全国消防救助技術大会出場	
				ロープ応用登はん	
平成	9	8	22	第26回全国消防救助技術大会出場	
				ロープ応用登はん	2位
平成	10	8	18	消防大学校救助科入校	1名
平成	11	8	19	第28回全国消防救助技術大会出場	
				ロープ応用登はん	

年	月	日	摘	要
平成	13	8	第30回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	6位
平成	14	8	第31回全国消防救助技術大会出場 ロープブリッジ渡過	
平成	16	8	第33回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
			第33回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
		10	消防大学校救助科入校	1名
平成	17	8	消防大学校救助科入校	1名
平成	18	8	消防大学校救助科入校	1名
平成	19	8	第36回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	2位
		8	消防大学校救助科入校	1名
平成	20	9	消防学校救助科講師派遣	1名
平成	22	8	第39回全国消防救助技術大会出場 ほふく救出	
平成	24	8	第41回全国消防救助技術大会出場 ロープブリッジ渡過	
平成	25	8	第42回全国消防救助技術大会出場 ロープ応用登はん	6位
		8	消防大学校救助科入校	1名
平成	28	8	第45回全国消防救助技術大会出場 梯子登はん	
平成	30	7	第47回消防救助技術関東地区指導会出場 ロープブリッジ救出	
		8	消防大学校救助科入校	1名
令和	元年	8	第48回全国消防救助技術大会出場 ロープブリッジ渡過	
令和	3	9	消防学校救助科講師派遣	1名
令和	4	8	消防大学校救助科入校	1名

29. 特別救助隊編成表

令和5年4月1日 現在

階 級 隊 員	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
隊 長	1				1
副 隊 長	2				2
隊 員	3	6	4	5	18
合 計	6	6	4	5	21

30. 年別救助出動状況

種 別 区 分	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
交 通 事 故	20	2	35	29	2	61	22	1	34	20	1	27	21	3	23
水 難	2	1		2	1	1	3		2	1	1	0	5	1	2
建 物 等 に よ る 事 故	2		1	2		1	11	3	6	8	1	3	10	1	6
機 械 に よ る 事 故				3		1	2		2	1	0	1	3	0	3
火 災															
そ の 他	8	2	5	15	3	9	7	2	1	10	1	3	5	0	2
合 計	32	5	41	51	6	73	45	6	45	40	4	34	44	5	36

31. 令和4年救助活動状況

種 別 \ 区 分	出 動 件 数	左のうち、救助活動に従事したもの		
		件 数	死 者	負 傷 者
交 通 事 故	21	9	2	8
水 難	5	3	0	2
建物等による事故	10	6	1	5
機械による事故	3	2	0	2
そ の 他	5	3	0	1
合 計	44	23	3	18

32. 令和4年地域別救助出動件数

種 別 \ 地 域 別 \ 区 分	旭 地 域			海 上 地 域			飯 岡 地 域			干 潟 地 域			合 計		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
交 通 事 故	12	1	14	4	2	4	2	0	1	3	0	4	21	3	23
水 難	2	0	1	0	0	0	3	1	1	0	0	0	5	1	2
建物等による事故	4	1	2	3	0	3	2	0	0	1	0	1	10	1	6
機械による事故	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	3
そ の 他	3	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	2
合 計	22	2	20	8	2	7	7	1	2	7	0	7	44	5	36

33. 令和4年消防隊出動状況

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
火 災	回 数	2	7	4	3	2		5	4	1	1		4	33
	出動台数	14	42	14	17	8		26	18	6	5		13	163
	延 人 員	45	123	45	49	26		72	51	16	14		38	479
火 (管外) 災	回 数	1						1		1	1			4
	出動台数	1						1		1	1			4
	延 人 員	4						4		3	3			14
救 急 支 援	回 数	44	27	31	26	31	27	24	39	28	30	29	55	391
	出動台数	44	27	31	26	31	27	24	39	28	30	29	55	391
	延 人 員	124	78	93	69	83	66	61	100	78	77	73	141	1,043
風 水 害	回 数								1					1
	出動台数								1					1
	延 人 員								3					3
危 険 物 排 除	回 数	2		3	5	3	1	4	1	4	2	1	4	30
	出動台数	2		3	5	3	1	4	1	4	2	1	4	30
	延 人 員	7		10	17	9	3	11	4	10	5	3	12	91
特 別 警 戒	回 数	3												3
	出動台数	6												6
	延 人 員	21												21
非 火 災	回 数	2	1	3	2	4	1	1	1	1		1	2	19
	出動台数	11	5	15	10	22	5	4	5	5		5	11	98
	延 人 員	31	14	45	33	63	14	13	14	15		13	32	287
合 計	回 数	54	35	41	36	40	29	35	46	35	34	31	65	481
	出動台数	78	74	63	58	64	33	59	64	44	38	35	83	693
	延 人 員	232	215	193	168	181	83	161	172	122	99	89	223	1,938

消 防 团



【 消 防 団 】

1. 旭市消防団の概要-----	33
2. 階級別消防団員数-----	34
3. 消防団員配置状況-----	34
4. 所属別消防団員勤続年数表-----	35
5. 階級別消防団員年齢表-----	35
6. 消防団及び消防団員に関すること-----	36
(1) 年間の主な行事（令和4年度）-----	36
(2) 消防団の出動状況（令和4年中）-----	36
(3) 団員の処遇-----	37
ア 報酬・手当-----	37
イ 退職報償金-----	37
ウ 補償制度-----	37
7. 旭市消防団警戒区域・火災出動範囲表-----	38
8. 消防団の配置車両状況-----	39
(1) 第1・2中隊-----	39
(2) 第3中隊-----	40
(3) 第4中隊-----	40
(4) 第5中隊-----	41

1. 旭市消防団の概要

(1) 旭市消防団の経緯

平成 17 年 7 月 1 日、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、新「旭市」の誕生により、旧 1 市 3 町の消防団を統合した現在の旭市消防団が発足した。消防団本部を消防本部内に設置した。

(2) 消防団の現況 (令和 5 年 4 月 1 日 現在)

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ・ 団 員 定 数 | 769 名 |
| ・ 実 団 員 数 | 742 名 （うち機能別団員 36 名） |
| ・ 団 構 成 | 団本部 5 中隊 16 分団 47 部 |
| ・ 車 両 構 成 | ① 水槽付消防ポンプ自動車 6 台 |
| | ② 消防ポンプ自動車(水槽付 2 台含) 13 台 |
| | ③ 小型ポンプ積載車(水槽付 1 台含) 28 台 |
| | 計 47 台 |
| | 団本部連絡車 1 台 |

2. 階 級 別 消 防 団 員 数

令和5年4月1日 現在

階級	団 長	副 団 長	分（本 部 員 含 む） 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員	合 計
実 団 員 数	1	5	31	16	47	94	512	36	742

3. 消 防 団 員 配 置 状 況

令和5年4月1日 現在

階級 分団		分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員	合 計
第1中隊	第1分団	1	1	3	6	44	2	57
	第2分団	1	1	3	6	26	4	41
	第3分団	1	1	3	6	28	4	43
第2中隊	第4分団	1	1	3	6	25	5	41
	第5分団	1	1	3	6	36		47
	第6分団	1	1	3	6	29	7	47
	第7分団	1	1	2	4	17	1	26
第3中隊	第1分団	1	1	3	6	34	2	47
	第2分団	1	1	3	6	29	3	43
	第3分団	1	1	3	6	36		47
第4中隊	第1分団	1	1	3	6	31	5	47
	第2分団	1	1	3	6	35	1	47
	第3分団	1	1	3	6	35	2	48
第5中隊	第1分団	1	1	3	6	33		44
	第2分団	1	1	3	6	32		43
	第3分団	1	1	3	6	42		53
合計		16	16	47	94	512	36	721

4. 所 属 別 消 防 団 員 勤 続 年 数 表

令和5年4月1日 現在

所 属 年 数	本 部	第 1 中 隊	第 2 中 隊	第 3 中 隊	第 4 中 隊	第 5 中 隊	合 計	年 数 構 成 比 率 (%)
5 年 未 満	2	60	99	37	54	61	313	42.18
5 ～ 10 未 満	15	63	48	66	38	51	281	37.87
10 ～ 15 未 満	14	11	5	20	23	15	88	11.86
15 ～ 20 未 満	12		1	8	11	7	39	5.26
20 ～ 25 未 満	8	1			8		17	2.29
25 ～ 30 未 満	1				2		3	0.40
3 0 年 以 上	1						1	0.14
合 計	53	135	153	131	136	134	742	100.00

5. 階 級 別 消 防 団 員 年 齢 表

令和5年4月1日 現在

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計	年 数 構 成 比 率 (%)
18 ～ 20 未 満									0.00
20 ～ 25 未 満						2	29	31	4.18
25 ～ 30 未 満					3	10	86	99	13.34
30 ～ 35 未 満			1		11	32	138	182	24.53
35 ～ 40 未 満				7	16	29	153	205	27.63
40 ～ 45 未 満			6	3	9	16	96	130	17.52
45 ～ 50 未 満		2	10	3	7	3	26	51	6.87
50 ～ 55 未 満		1	11	3	1	2	17	35	4.72
55 ～ 60 未 満			3				3	6	0.81
6 0 以 上	1	2						3	0.40
合 計	1	5	31	16	47	94	548	742	100.00

団員は機能別団員を含む

6. 消防団及び消防団員に関すること

(1) 年間の主な行事 (令和4年度)

4月	部長・新入団員研修	10月	
5月	規律・全体訓練 消防用資機材等操作取扱訓練 旭市消防操法大会(中止)	11月	産業祭り参加(中止) 消防団訓練指導員課程研修 消防団中隊訓練
6月	海匠支部操法大会 (銚子会場 中止)	12月	歳末訓練 歳末警戒
7月	いいおかYOU・遊フェスティバル 会場警備	1月	旭市消防出初式 文化財火災防御訓練(雷神社)
8月	旭市七夕市民まつり警備	2月	春季総合消防訓練 (あさひ市民センター)
9月	ポンプ無線点検 旭市総合防災訓練(中止)	3月	津波避難訓練 千葉県消防大会 団広報紙「団報あさひ」の発行

(2) 消防団の出動状況 (令和4年中)

区 分	回 数	延べ車両	延べ人員	備 考
火 災	33	172	1,564	建物 19 林野 2 車両 1 その他 11
風水害等	3	18	97	台風
捜 索	0	0	0	行方不明者捜索
演習・操法 大会訓練	25	337	4,054	出初式 部長研修 各種中継訓練 全体訓練 資機材ポンプ点検 消防用資機材等操作取扱訓練 等
特別警戒	8	101	764	夜間特別警戒活動 市催し物 (いいおかYOU・遊フェスティバル、旭市七夕市民まつり等) 12月29日・30日歳末警戒市内全地区
合計	69	628	6,479	

(3)団員の処遇

ア 報酬・手当

令和5年4月1日 現在

種 類	金 額	種 類	金 額
報 酬 (年 間)	団 長	手 当	火災出動 6,000円／1隊1回 訓練出向 1,000円／1人1回
	副 団 長		
	分 団 長		
	副 分 団 長		
	部 長		
	班 長		
	団 員		
	機能別団員		
	120,000円		
	80,000円		
	65,000円		
	50,000円		
	42,000円		
	30,000円		
	25,000円		
	10,000円		

イ 退職報償金(5年以上勤続消防団員に支給・一般団員の場合の額)

5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30年以上
200千円	264千円	334千円	409千円	519千円	689千円

ウ 補償制度

- ・公務災害補償 : 消防団活動中の怪我について、治療費補償、休業補償等
- ・福祉共済制度 : 団員が死亡、障害または7日以上入院する怪我を負ったときに、共済金を給付

7. 旭市消防団警戒区域・火災出動範囲表

令和5年4月1日 現在

所属		管轄区域		車両種別	特命出動	第1出動	第2出動		第3出動	
第一中隊（旭地域）	第1分団	1部	新田、東町、新町、仲町、田町、塚前、街道、瀬道	水槽付ポンプ車	原則出動しないが、 発災地の消防団現場に出動する可。	旭第1分団 旭2-1 3-1 旭4-1 4-2	第1出動に加え 旭2-2 2-3 3-2 3-3 3-4 4-3 旭7-1 7-2 海1-3 2-1 2-2 2-3		第一・第二中隊全隊出動	第2出動に加え 海1-1 飯3-1 干2-1
		2部	網戸	ポンプ車(水槽付)						
		3部	十日市場岡	ポンプ車						
	第2分団	1部	椎名内浜、西足洗浜	ポンプ車(水槽付)		旭第2分団 旭1-1 旭3-1 3-2 3-3	旭1-2 1-3 4-1 4-2 4-3 旭6-1 6-2 海2-1 飯3-1 3-2 3-3			海1-1 1-3 2-2
		2部	足川浜、十日市場浜、足川岡、椎名内岡	小型ポンプ積載車						
		3部	野中、東足洗岡、西足洗岡	小型ポンプ積載車						
	第3分団	1部	中谷里岡、仁玉岡	水槽付ポンプ車		旭第3分団 旭1-1 2-1 旭4-1 5-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 4-2 4-3 旭 5-2 5-3			海2-1 2-2 飯3-1 3-2 3-3
		2部	川向浜、仁玉浜、中谷里浜、神宮寺浜、駒込浜、井戸野浜	小型ポンプ積載車(水槽付)						
		3部	神宮寺岡	小型ポンプ積載車						
第二中隊（旭地域）	第4分団	1部	干潟、干潟南、神西、川口二区・八軒町	水槽付ポンプ車	原則出動しないが、 発災地の消防団現場に出動する可。	旭第4分団 旭1-1 3-1 旭5-1 6-1	旭1-2 1-3 3-2 3-3 5-2 5-3 旭6-2 6-3 7-1 7-2 干2-1		第三中隊全隊出動	海2-1 2-2 2-3 干3-1 3-2 3-3
		2部	宿天神、新川、馬場若衆内	ポンプ車						
		3部	袋	小型ポンプ積載車						
	第5分団	1部	井戸野(上・中・下)	ポンプ車		旭第5分団 旭1-1 2-1 旭3-1 4-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 3-2 3-3 旭4-2 4-3			海2-1 干2-1 干3-1 3-2 3-3
		2部	川口	小型ポンプ積載車						
		3部	泉川、駒込岡、大塚原	小型ポンプ積載車						
	第6分団	1部	新町(上町・仲町・下町)	水槽付ポンプ車		旭第6分団 旭1-1 4-1 旭7-1 干2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 7-2 海2-1 干2-3 3-3			干2-2
		2部	鎌数溜下、鎌数宮本、鎌数元締	小型ポンプ積載車						
		3部	鎌数小川、鎌数谷町場	小型ポンプ積載車						
	第7分団	1部	東琴田、中琴田、江ヶ崎、江ヶ崎西町	ポンプ車		旭第7分団 旭1-1 4-1 旭6-1 海2-3 干2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 6-2 6-3 海2-1 2-2			干2-3
		2部	西琴田	小型ポンプ積載車						
第三中隊（海上地域）	第1分団	1部	見広、大間手	ポンプ車	原則出動しないが、 発災地の消防団現場に出動する可。	海第1分団 海2-1 3-1 飯2-1 3-1	第三中隊全隊出動	旭7-1 7-2 飯2-3 3-2		旭1-1 1-2 飯2-2 3-3
		2部	倉橋（横根飛地）	小型ポンプ積載車						
		3部	蛇園	ポンプ車						
	第2分団	1部	広原(東・仲・南・西)	水槽付ポンプ車		海第2分団 海1-1 3-1 旭1-2 7-1	旭1-1 1-3 4-2 4-3 旭6-1 7-2 飯3-1		飯2-3 3-2 3-3 干1-1 1-2 1-3	
		2部	後草	ポンプ車						
		3部	高生、琴田、沖	小型ポンプ積載車						
	第3分団	1部	清滝	ポンプ車		海第3分団 海1-1 1-3 海2-1 2-2	旭6-1 7-1 7-2 飯3-1 3-2 干1-1		飯3-3 干1-2 1-3 2-1	
		2部	幾世	小型ポンプ積載車						
	3部	岩井、松ヶ谷	小型ポンプ積載車							
第四中隊（飯岡地域）	第1分団	1部	上永井、南町	小型ポンプ積載車	原則出動しないが、 発災地の消防団現場に出動する可。	飯第1分団 飯2-2 2-3 飯3-1 3-3	第四中隊全隊出動	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 3-1 海1-3 2-1		旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3
		2部	本町、横根東浜、下永井(永井岡・東町・西上町・西下町)	ポンプ車						
		3部	川端町、小網町、広網町、大崎町、並木町、飯岡岡	ポンプ車						
	第2分団	1部	塙東町、塙西町、塙新町	小型ポンプ積載車		飯第2分団 飯1-2 1-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 旭3-1 海1-2(塙地区) 1-3 2-1		旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3	
		2部	八軒町、行内、平松岡、平松浜	小型ポンプ積載車						
		3部	萩園、横根西浜、横根岡、双葉町	ポンプ車						
	第3分団	1部	曾根、目那	水槽付ポンプ車		飯第3分団 飯1-2 1-3 飯2-2 2-3	旭1-2 2-1 2-2 2-3 海1-3 2-1		旭1-1 1-3 海1-1 1-2	
		2部	犬林、後、上宿、下宿	小型ポンプ積載車						
		3部	三川浜、県営飯岡団地	小型ポンプ積載車						
第五中隊（干潟地域）	第1分団	1部	東2.3区 萬歳(御用地長岡丁場・太田丁場)	小型ポンプ積載車	原則出動しないが、 発災地の消防団現場に出動する可。	干第1分団 干第2分団 旭6-1 7-1	第五中隊全隊出動	旭7-2 海2-2 3-1 3-2		旭6-2 6-3 海2-1 2-3 3-3
		2部	東1.7区 萬歳(水門)、桜井(大久保飛地)、さくら台	小型ポンプ積載車						
		3部	東4.5区 萬歳(柳辺)、関戸	小型ポンプ積載車						
		東6区 溝原	小型ポンプ積載車							
	第2分団	1部	中3.4.5.6区 東入野、西入野、米込(三番割・二番割)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干1-3 3-2 干3-3 旭6-1 7-1	旭6-2 6-3 7-2 海2-2		旭4-1 4-2 4-3 海2-1 2-3	
		2部	中1.2.10.11区 長部、清和甲、松沢開墾	小型ポンプ積載車						
		3部	中7.8.9.12.13区 米込、南堀之内、清和乙、県営住宅、白寿園	小型ポンプ積載車						
	第3分団	1部	西1区 鎗木(宿内)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干第3分団 旭4-1 6-1	旭4-2 4-3 6-2 6-3		旭5-1 5-2 5-3 旭7-1 7-2	
		西5.6区 鎗木(内宿・塙台)								
		西7.8区 鎗木(湯木・宿)								
		2部	西3.4.12区 鎗木(愛宕・高根・河岸湖)	小型ポンプ積載車						
		西2.9.10.11区 萬力(萬力下・百石・萬力上)								
		3部	西13.14.15区 萬力(新発田・六軒屋下・上) 西16.17.18区 萬力(三軒家東・西・秋田)							

※ 平成26年4月1日 施行【加算式】
・管外応援出動は境界より500mとし、原則は建物火災とする。また、管内隣接区域への出動は各部の判断で出動すること。
・通信が共同指令センターに移行したことにより、出動指令通告が変更となる。

8. 消防団の配置車両状況

(1) 第 1 ・ 2 中 隊 (旭)

所 属		車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別
1	1	日 野	水 槽 付 ポンプ 車	平 成 19 年	日 本 造 機	平 成 19 年	A2
	2	い す ゞ	ポンプ車(水槽付)	平 成 16 年	日 本 造 機	平 成 16 年	A2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平 成 28 年	G M い ち は ら	平 成 28 年	A2
2	1	日 野	ポンプ車(水槽付)	令 和 2 年	モ リ タ	令 和 2 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 22 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 22 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 22 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 22 年	B2
3	1	日 野	水 槽 付 ポンプ 車	平 成 16 年	日 本 造 機	平 成 16 年	A2
	2	日 野	小型ポンプ積載車(水槽付)	平 成 22 年	ト ー ハ ツ	平 成 21 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 19 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 19 年	B2
4	1	日 野	水 槽 付 ポンプ 車	平 成 21 年	モ リ タ	平 成 21 年	A2
	2	日 野	ポ ン プ 車	平 成 28 年	G M い ち は ら	平 成 28 年	A2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 22 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 17 年	B3
5	1	い す ゞ	ポ ン プ 車	平 成 17 年	G M い ち は ら	平 成 17 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 22 年	ト ー ハ ツ	平 成 22 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 29 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 29 年	B2
6	1	日 野	水 槽 付 ポンプ 車	平 成 17 年	G M い ち は ら	平 成 17 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 29 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 29 年	B2
	3	い す ゞ	小型ポンプ積載車	平 成 22 年	ト ー ハ ツ	平 成 21 年	B2
7	1	日 野	ポ ン プ 車	平 成 18 年	モ リ タ	平 成 18 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平 成 30 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平 成 29 年	B2

(2) 第 3 中 隊 (海 上)

所 属		車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別
1	1	日 野	ポ ン プ 車	平成 29 年	G M い ち は ら	平成 29 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 19 年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成 21 年	G M い ち は ら	平成 21 年	A2
2	1	日 野	水槽付ポンプ車	平成 20 年	G M い ち は ら	平成 20 年	A2
	2	ニッサン	ポ ン プ 車	平成 12 年	G M い ち は ら	平成 12 年	A2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	ト ー ハ ツ	平成 22 年	B2
3	1	ニッサン	ポ ン プ 車	平成 11 年	野 口 ポ ン プ	平成 11 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 19 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 30 年	ト ー ハ ツ	平成 30 年	B2

(3) 第 4 中 隊 (飯 岡)

所 属		車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別
1	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 30 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 17 年	B3
	2	ニッサン	ポ ン プ 車	平成 14 年	G M い ち は ら	平成 14 年	A2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成 24 年	G M い ち は ら	平成 24 年	A2
2	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 19 年	B2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 19 年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成 24 年	G M い ち は ら	平成 24 年	A2
3	1	日 野	水 槽 付 ポンプ 車	平成 15 年	G M い ち は ら	平成 15 年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 24 年	ト ー ハ ツ	平成 23 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 19 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 19 年	B2

(4) 第 5 中 隊 (干 潟)

所 属		車 名	種 別	年 式	ポンプ 製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別
1	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 13 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 10 年	B2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 30 年	ト ー ハ ツ	平成 27 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 30 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 17 年	B3
2	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 13 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 13 年	B3
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 30 年	ト ー ハ ツ	平成 30 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 29 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 29 年	B2
3	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 30 年	ト ー ハ ツ	平成 30 年	B2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 13 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 13 年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成 13 年	シ バ ウ ラ (旧マキタ沼津)	平成 13 年	B3

消 防 年 報

(令和4年版)

編集・発行

旭市消防本部 総務課

〒289-2511

千葉県旭市イの 2953 番地 1

TEL 0479 (63) 0119

メールアドレス

asahi119-somu@city.asahi.lg.jp

ホームページ (旭市ホームページ内)

<http://www.city.asahi.lg.jp/section/shoubou/index.html>



旭市イメージアップキャラクター あさピー